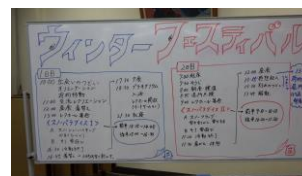




令和5年度「ウインターフェスティバル」実施報告書

I 事業の概要

1. 期 日 令和6年2月3日(土)～4日(日) 泊2日
2. ねらい
 - ・スノーシュー・そりなど、楽しい雪遊び活動を体験することで冬の自然に親しむ。
 - ・活動をとおして、親子の絆を深めるとともに、他の家族との交流を図る。
3. 参加対象 小中学生とその家族 16家族
4. 応募者 15組 48名
5. 参加者 11組 35名
6. 参加費 3,000円
7. 日 程



2月3日(土)		2月4日(日)	
9:30	受付	7:00	起床
10:00	出会いのつどい・荷物移動	7:30	掃除
11:00	交流レクリエーション	8:00	朝食
12:00	昼食・着替え	8:45	退所点検
13:15	〈スノーパラダイスⅠ〉 スノーシューハイキング チューブそり遊び・かまくら作りなど	9:00	〈スノーパラダイスⅡ〉 スノーフラッグ&雪中宝探し チューブそり遊びなど
16:30	休憩	11:30	着替え
17:30	夕食	12:00	昼食
18:30	プラネタリウム&入浴	13:00	感想記入
21:30	就寝	13:30	別れのつどい
		13:45	解散

II 実施状況

■1日目の活動の様子<2月3日(土)天候 くもりのち雨>

11組の家族を迎え、ウインターフェスティバルが始まった。

最初の活動は交流レクリエーション。笑顔がたくさん見られ、和やかな雰囲気となった。

午後は、メインの雪遊び活動。暖冬で雪不足が心配であったが、1月末にたくさん降った雪がなんとか残っており、予定通りに船上山周辺での雪遊び活動ができた。

スノーシューハイキングは、動物の足跡を見つけることができ、船上山の豊か



な自然を感じる活動となった。かまくら作りでは、子どもが入れるくらいのかまくらを作る家族、バケツで固めた雪で人の背丈ほどの雪像を作る家族と、思い思いに創作活動を楽しむことができた。そり遊びでは、積雪約30cmのダム湖下斜面で、チューブそり・プラスチックそりでの活動を実施した。チューブそりは歓声が上がるほどの迫力と爽快感で、とても楽しい活動となった。

夕食後は、専門家の星空解説によるプラネタリウム体験を実施した。プラネタリウム、お風呂の待ち時間にはボードゲームを楽しむ家族も多く、和やかな雰囲気、1日目の日程を終えた。

■2日目の活動の様子<2月4日(日)天候 雨のちくもり>

2日目は朝から冷たい雨が降っていたが、9時頃に雨が弱まったので、小雨の中、予定通り雪遊びを実施した。

そり遊びは、ダム湖下斜面の積雪は約25cmと1日目よりも減ってしまったが、なんとかチューブそりもできた。スノーフラッグは真剣勝負もあり、宝探しでは一生懸命な姿がみられ、大人も子どもも楽しい時間となった。

最後の食事は、人気メニューのカルビ丼。「おいしい」と、うれしそうな声も聞こえ、食事も含め満足された様子だった。

別れのつどいでは、子どもたちが挙手にて「楽しかった」など感想を発表し、和やかな雰囲気の中、すべての日程を無事に終えることができた。

Ⅲ 総括

1. 参加者の感想(抜粋)

- ・ 子どもも大人も、雪などでしっかり遊ぶことができて良かった。知らない人との交流もスムーズにできるように工夫していただいて、ありがたかったです。
- ・ 指導員の方がついて下さり、安全に雪遊びができました。そりの種類もたくさんで、家ではなかなかできない遊び方です。スノーシューハイキングでは動物の足跡があり、感動しました。食事もおいしく大満足でした。
- ・ 泊りがけて、新しい友達ができただけのも、子どもにとって貴重な経験だったと思います。すき間時間のボードゲームやカードゲーム、職員の方々の関わりもとても良い時間でした。

2. 成果

- ・ そりコースの整備を事前に職員でしっかりと行ったことで、小雨で積雪が少ない中でも楽しんでいただけて良かった。
- ・ スノーシューハイキングのコースに複数の動物の足跡があり、参加者に見ていただき、紹介することができた。自然の豊かさを感じられる活動が提供できて良かった。

3. 課題

- ・ そり会場を当初の計画から変えたことにより、移動時間の分、活動時間が長くなってしまった。活動内容の工夫や時間調整が必要であった。

